

令和6年(2024年)11月12日
子ども・子育て会議資料
子ども教育部子ども・教育政策課

第6期第4回中野区子ども・子育て支援事業計画第3期策定に向けた
グループディスカッションで出た主な意見

【事業新設・拡充の取組】

- 病児保育の事業実施場所について、拡充してほしい
- キッズ・プラザ事業について、未設置校へ整備してほしい
- 校舎を活用した居場所事業だと子どもが行きやすい
- 一時保育事業について、需要が多く、すぐに定員が埋まる
- 一時預かり事業について、保護者からの希望では、区立保育園での一時預かりを希望する声が多い

【利便性向上の取組】

- 子どもショートステイ事業・一時預かり事業・トワイライトステイ事業についての申込の時期、申込方法のスピーディーさの改善など、意見としてあるのではないか
- 学童クラブ、キッズ・プラザ事業、放課後子ども教室推進事業について、利用者に対して部屋が狭い。利用者が多いことで静かに過ごせる場所がほぼない。(うるさい環境が苦手な子は過ごしにくい)
- 利用するのに申請が必要な事業について、1つのプラットフォームに一本化するのはどうか

【広報・周知の改善の取組】

- 子育てひろばの認知度向上が必要。区HPやSNS以外での周知が必要なのではないか
- 事業周知の方法として、LINEを使うなど、SNSを活用するとよい
- 何をどこに聞いたらいいかわからない
- 区民に対して子どもの活動をやりたい人の募集広報をする

【その他】

- ペーパーレスにこだわりすぎている。特に未就園児の親は紙チラシも大事だと思う